

くにみ 議会だより

No.172
3月議会号



未来に輝くやさしい目
夢がいっぱい いちねんせい

小学校入学式後、教室でのようす。学校生活への希望に満ちています。

3月定例会

議会の構成が変わりました

副議長に阿部泰蔵議員 P2

新規事業で米の付加価値向上事業などを計上 P4

(平成29年度当初予算)

一般質問(小中学生の学力レベルについてなど5人が登壇) P13

廃校を貸事務所として成功した町(秋田県五城目町行政調査) P20

議会の構成が変わりました

副議長に阿部泰藏議員

3月定例会は、3月2日から3月16日までの15日間の会期で開かれ、志村副議長のご逝去に伴う副議長選挙や公立藤田病院組合議員の補欠選挙が行われました。副議長選挙の結果を受け、産業建設常任委員会、議会運営委員会の構成が一部変更となりました。

また、国見町税条例の改正や農業ビジネストラaining所を整備するための補正予算、新年度予算など35議案が提出され、すべて原案どおり可決しました。一般質問では、5人の議員が登壇し町政をたどりました。



阿部泰藏 副議長
あいさつ

今定例会において、副議長選挙が行われ、国見町議

会副議長の要職を引き受けることになりました。微力ではありますが、町政発展のため、議長を補佐して開かれた議会を目指し、なお一層努力する所存です。今後とも、皆様のご支援、ご指導をお願い申し上げます。副議長就任の挨拶とします。



産業建設常任委員会

(阿部議員が副議長就任に伴い委員長を辞任。新しく正副委員長が就任しました。)

- 委員長(新) 渡辺勝弘
 - 副委員長(新) 村上正勝
 - 委員 阿部泰藏
 - 委員 井砂善榮
 - 委員 村上一
- ※なお、定数は6人ですが、1人欠員となります。

議会運営委員会

(阿部議員が副議長就任に伴い委員を辞任し、新しく委員が選任されました。また、副委員長が就任しました。)

- 委員長 八島博正
- 副委員長(新) 渡辺勝弘
- 委員 浅野富男
- 委員 松浦常雄
- 委員 佐藤定男

一部変更となった議会組織

3月2日の副議長選挙に伴い、産業建設常任委員会、議会運営委員会について、議会の組織構成が変更になりました。

また、一部事務組合について、公立藤田病院組合議会議員が1人欠員となったため、補欠選挙が行われ、新たな議員が選出されました。

新しい委員会構成、一部事務組合議会構成は以下のとおりです。

八島博正議員による追悼演説

故人を偲び、町議会を代表して八島博正議員による追悼演説が行われ、その後、出席者全員で黙とうを捧げました。

【追悼演説文(抜粋)】
志村議員とは、私が3期のときから長きにわたり、7期25年間共に議員として、また同志としてまじりまじりに参画してまいりました。

特に平成23年3月に発生した東日本大震災と原発事故により、国見町は中通り、会津地方の中でも最大の被害を受け、町と議会は復旧復興に全力で取り組んできました。

また志村副議長とともに全員で取り組んだ議会改革は、議員定数削減や議会基本条例の制定などにより、その成果が認められ、国見町議会が、全国町村議会議長会より表彰状を受賞することができました。残された私たち議員一同は志村良男議員のこれまでの議員活動や意志を受け継ぎ、国見町の発展と住民福祉向上のため、まい進する覚悟であります。

本日ここに、在りし日の面影を偲び、生前のご功績をたたえつつ、心からご冥福を申し上げまして追悼のごとばといたします。

平成29年3月2日
国見町議会
議会運営委員長
八島 博正

訃報

町議会副議長 志村良男氏急逝



国見町議会議員で前副議長の志村良男氏(77歳)が平成29年2月19日、ご逝去されました。

ここに故志村良男議員の生前の功績に感謝と敬意を表し、慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

【略歴】
昭和14年3月28日生まれ。平成3年に行われた町議会議員選挙において見事初当選されました。以来、7期25年11月にわたり国見町の発展と住民福祉の向上のために、ご尽力いただきました。その間、文教厚生常任委員長として副議長を2期5年9月務めるなど、多くの要職を歴任し、議会の中心的存在として様々な課題や諸施策に誠心誠意取り組んでこられ、地方自治の伸張に大きく寄与されました。

一部事務組合議会

公立藤田病院組合議会議員
東海林一樹
阿部 泰藏

(新) 村上

松浦 常雄
佐藤 定男
井砂 善榮
一

※補欠選挙にて欠員1人のみ選出されました。



3月にくみ米づくりの研究会も設立された

3月定例会 平成29年度 新規事業で米の

一般会計56億円 繰越予算14億円 付加価値向上事業などを計上

- ふるさと納税事業 4,003万円
 - 阿津賀志山防壁・ハス池周辺の整備 9,722万円
 - 歴史を活かしたまちづくり事業 9,455万円
 - 町の情報発信事業 4,533万円
 - 新規就農者支援 4,444万円
 - 町民相談室兼消費生活相談事業 4,244万円
 - 若者交流事業 4,033万円
 - 東京くみにみ会事業 2,777万円
 - ヤングカレッジ事業 55万円
- ### 町の継続的な維持発展
- ももたん広場の運営 1,264万円
 - 元気まつり・通いの場など介護予防 1,166万円
 - キッズフェスティバル 95万円
 - 幼小中一貫教育事業 39万円
- ### 思いやりのある町政の実現
- 放課後子どもクラブなど子育て支援 4,397万円
 - いきいきサロン、デイサービスなど高齢者支援 1,264万円
- ### 活力ある町政の実現
- 農業ビジネス訓練所整備事業（繰越） 9,587万円
 - 道の駅運営支援事業 2,478万円
 - 芸術文化振興事業 1,389万円
 - まちづくり推進協議会事業（義経まつりなど） 1,307万円
 - 応援団ツアーなど観光・交流事業 9,667万円
 - ジュニア応援団事業 1,200万円

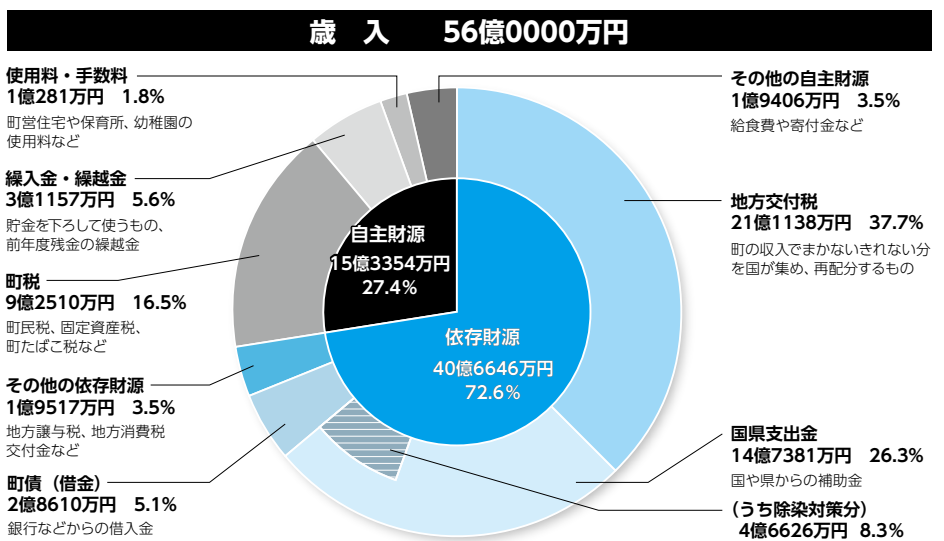
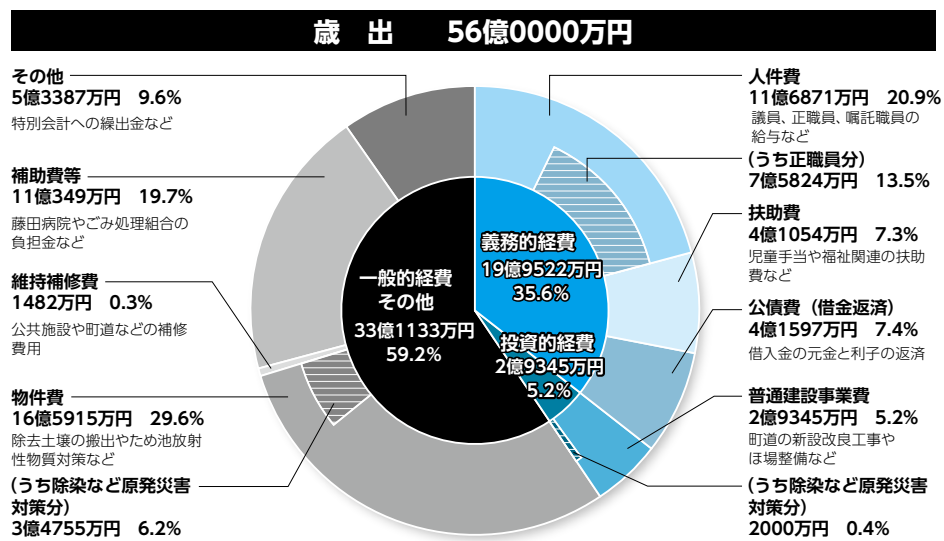
- ### 大震災からの早急な復興再生
- 除染対策事業 4億6,226万円
 - ため池放射性物質対策事業 2億8,544万円
 - 営農再開支援事業 7,683万円
 - 農産物PR 6,566万円
 - 放射線対策健康管理 3,587万円
- ### 安全安心な町政の実現
- 自治協議会事業（町道等の補修） 2,100万円
 - 消防車両の購入事業 1,800万円
 - 防火水槽・消火栓設置事業 1,141万円
 - 防犯LED化事業 6,600万円
 - 防災マップ作成事業 1,233万円
 - 各地区防災訓練 76万円

平成29年度の当初予算は56億円で、前年度に比べ35億4,000万円（38・7%）の増減となり、全員賛成で可決しました。

当初予算は「国見のみらいをつくる5つの目標」を柱に、除去土壌の搬出など除染対策の推進のほか、新規事業として「くみに米」のブランド化を進める米の付加価値向上事業や、地域間交流連携支援プロジェクト事業などの経費が計上されました。

米の付加価値向上のため「くみに米」のブランド化を進める

平成29年度一般会計当初予算



当初予算の主な質疑

歳出

ふるさと納税額のうち町に入る金額は

問 (村上正勝議員)
ふるさと納税業務委託4000万円が計上されているが、実際町に入る金額はどのくらいか。

総務課長 基本的には寄附の半額は返礼品として、1割は取り扱いない業者の手数料、さらに1割は、郵送代に充てられている。残りの3割が町に残り、ふるさと納税基金に積み立てられている。

保育所職員の確保状況は

問 (阿部泰蔵議員)
全国的に保育士不足が問題になっている。当

町の常設保育所の嘱託職員数が22名であるが、人数は十分か。また全員が保育士の資格を有しているのか。

幼児教育課長 全員保育士の資格を有している。29年度の常勤・パートの保育士は、希望人数に達していないが、現在の人数でも運営に支障はない。余裕を持った安全安心な保育のために、引き続き保育士の確保に努めたい。

風評対策事業の効果や実績は

問 (松浦和子議員)
風評対策事業は、応援団ツアー446万4千円、くにしゅらん255万円が計上され、首都圏の女性を対象に県補助金で実施されている。この事業には町民の批判的な声も少なくない。目的・効果・実績を伺う。

まちづくり交流課長 目的は、風評対策である。女性応援団ツアーは、女性が家庭の消費の決定権を握っていること、補助金の交付要綱に県外の方々を福島と呼び込んで実施するという条件もあり、首都圏の女性をターゲットに実施した。くにしゅらんは、27年度にうつくしまデスティネーションという県とJRの共催観光PR事業で、福島のようにところを発信する大きな目的があった。町でも農業と観光を結びつけた新たな事業としてくにしゅらんを町独自で実施してきた。

効果は、応援団ツアーでは、農業体験を通して国産の農産物のおいしさやすばらしさを発信した。農作物の直接注文販売に結びついた例もある。東京くにも会の基盤にもなり、効果は間違いなく上がっている。

経営アドバイザーとは何か

問 (渡辺勝弘議員)
まちづくり会社支援事業500万円で生産基盤強化、道の駅の連携支援となつているが、経営アドバイザーとは何か。

まちづくり交流課長 会社が運営する道の駅の健全な経営のアドバイスをいただくため、町としても計上している。経営支援の意味合いである。

消防車両の車種と配置分団は

問 (井砂善榮議員)
消防費の中で、車両船舶1800万円となっているが、どのような車種をどの分団に配置するのか。

住民生活課長 20年経過した車両を年1台更新している。車種は消防ポンプ車である。どの分団に配置するかは、29年度の対象が複数台あるため、消防

■平成29年度各会計当初予算

会計名	平成29年度当初予算	前年度対比		
		増減額	増減率	
一般会計	56億0000万円	△35億4000万円	△38.7%	
特別会計	国民健康保険	13億5559万円	△1892万円	△1.4%
	介護保険	12億1082万円	8472万円	7.5%
	公共下水道事業	2億3956万円	913万円	4.0%
	後期高齢者医療	1億1332万円	291万円	2.6%
	土地開発事業	4630万円	80万円	1.8%
	濁水対策施設	2969万円	2050万円	223.3%
	入山財産区	21万円	4万円	23.1%
	大木戸財産区	16万円	0.4万円	2.5%

特産品開発支援事業の内容は

問 (松浦常雄議員)
特産品開発支援事業80万円の具体的な内容を伺う。

まちづくり交流課長 町の単独補助事業である。農家の方々や商工業者で町の農産物などを活用して6次化に取り組みうと考

団の幹部会議で協議をし、決定したい。

除染対策は今回の予算で終了見込みか

問 (浅野富男議員)
原発対策費の大部分は除染作業費と考えるが、除染作業は、今回の予算限りで済ませたい。終了の見込みなのか。

原発災害対策課長 27年度に住宅公施設や子ども遊び場など、環境省のガイドラインに基づき、できるものはすべて取り組んだ。29年度へ予算を繰り越した道路除染が完了すれば、町としての除染作業は終了を迎えると考えている。

Q—Uテストとはどのようなものか

問 (佐藤定男議員)
新規事業で、小学校でQ—Uテストの予算が計上されている。Q—Uテストとはどのようなものか。



か。また、いじめアンケートとの違いは。

教育次長 「Q」は、クエスチョン、ネア（質問票）、「U」はユーティリティ（実用性）の略である。楽しい学校生活を送るためのアンケートで、人間関係を調査し、学級経営に有効な資料として活用していくもので、いじめ調査に特定した調査ではない。いじめアンケートは、いじめについて直接的に答えてもらうアンケートである。

(要旨)

平成29年度 町長施政方針

1. 東日本大震災からの復興・再生

除染廃棄物の中間貯蔵施設への搬入と風評被害払拭。

2. 安全安心な町政の実現

地域コミュニティや消防・警察などと連携した防災訓練や自助の普及啓発。

3. 活力ある町政の実現

4大イベントの実施、「道の駅国見あつかしの郷」の経営安定化、6次化をはじめとする農商工の振興、各種スポーツや文化の振興。

4. 思いやりのある町政の実現

子育て支援策の充実、教育の振興、高齢者の支援策の充実、医療体制の充実強化

5. 町の継続的な維持発展

「歴史まちづくり計画」の具体化、国や県、近隣市町村、首都圏、関係機関などとの交流連携による地方創生総合戦略の具体化。

*6次化とは 農業が食品加工や流通販売にも業務を展開すること。

原発災害対策課を廃止し 住民生活課へ統合

国見町課設置条例

(要旨) 原発災害対策課を廃止する。

(全員賛成で可決)

根本的な廃止の理由は

問

(渡辺勝弘議員) 業務縮小での課の廃止だが、今までやってきたことがどう変わって廃止となったのか。

(総務課長) 事業量が格段に少なくなつた。全く事業をやめるわけではなく、規模を縮小するために課を廃止する。

課の必要性はまだ

高いが今後の考え方は

問

(渡辺勝弘議員) 繰越明許費も7億7200万円あって新年度でも予算を取っている。除去土壌の搬出や仮置場もまだ終息していない中で、課はまだ必要性が高いのではないか。

(総務課長) 当初予算で仮置場の堆積物の除去、除去土壌等運搬業務として予算を計上している。今までと比べ格段に事業量が少なくなってきたため、課を廃止し、一部業務を住民生活課で継続する。

除染に対する安全安心なまちづくりへの考えは

問

(渡辺勝弘議員) 課を廃止するといふことは、今後は除染しないとの憶測が出るのではないか。施政方針にある安全安心なまちづくりへの考え方は。

町長

住宅除染は終了したが、道路除染、ため池除染は残っている。これらも鋭意対応するが、作業から管理に移行しつつある。職員はしっかりと付け、原発全体の問題から震災前の状態に戻すことに全精力をかけていく。町民の安全安心をしっかり担保する意識を持って、全職員をあげて復旧復興に鋭意対応していきたい。

育児・介護を行う
職員の規定を改正

職員の勤務時間、休暇等に関する条例等

(要旨) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律および地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

介護を行う職員の超過勤務の免除、育児を行う職員の深夜勤務等の制限に係る子の範囲の拡大、介護休暇の分割取得、最長3年・1日2時間までの介護時間ができる仕組み、育児休業等に係る子の範囲の拡大を規定するもの。

(全員賛成で可決)

通勤手当の上限額を引き下げ

職員の給与に関する条例

(要旨) 通勤手当の上限を

「4万6500円」から「4万3400円」に引き下げると。

住宅ローン控除の適用期間を2年半延長

国見町税条例等

(要旨) 消費税10%への引き上げが2年半延期されたことに伴い、地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことから、所要の改正を行う。

住宅借入金等特別税額控除(住宅ローン控除)の適用期間の2年半延長、法人税期の税率引き下げを2年半延期、新たな軽自動車税環境性能割を創設し消費税の引き上げ時に施行することを規定する。

(全員賛成で可決)

課税額の修正や
特例の創設を行う

国見町国民健康保険 税条例

(要旨) 後期高齢者支援金に係る特定継続世帯の課税額を修正する。また、日本と台湾の租税取り決めに伴い、台湾で得られた利子

所得および配当所得を国保税の所得割や軽減判定に用いる総所得金額に含める特例を創設する。

(全員賛成で可決)

介護保険法施行令の
改正で特例を創設

国見町介護保険条例

(要旨) 介護保険法施行令の一部改正に伴い、平成29

年度の介護保険料の段階判定に用いる総所得金額について、長期および短期譲渡所得に係る特別控除額を控除した額を用いることができる特例を創設する。

(全員賛成で可決)

委員の定数を
適当数に改正

国見町水道事業経営 審議会条例

(要旨) 公募による委員(水道使用者)の定数を「5人以内」から「3人以内」とする。

(全員賛成で可決)

一般議案

農産物加工施設の
指定管理者を定める

公の施設の指定管理 者の指定

(要旨) 国見まちづくり株式会社を「国見町農産物加

「4万6500円」から「4万3400円」に引き下げると。

住宅ローン控除の適用期間を2年半延長

国見町税条例等

(要旨) 消費税10%への引き上げが2年半延期されたことに伴い、地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことから、所要の改正を行う。

住宅借入金等特別税額控除(住宅ローン控除)の適用期間の2年半延長、法人税期の税率引き下げを2年半延期、新たな軽自動車税環境性能割を創設し消費税の引き上げ時に施行することを規定する。

(全員賛成で可決)

土地譲渡契約解除違
約金の支払を求める

訴えの提起

(要旨) 国見ニュータウン土地譲渡契約に基づく、契約解除違約金の支払を求める。

(全員賛成で可決)

違約金の金額はいくらか

問

(渡辺勝弘議員) 契約違約金の金額はいくらか。

(企画情報課長) 土地分譲代金の20%と規定されており、175万円ほどである。

裁判費用はどのくらいか

問

(渡辺勝弘議員) 裁判費用はどのくらいを予定しているか。

(企画情報課長) 一般会計の補正予算に40数万円ほど計上している。

裁判を起す理由は

(渡辺勝弘議員)

平成20年にある程度の相談があつてから今年まで9年間あつた。175万円をもらうために40万円かけるよりも新たな購入者を探すべきではなかったのか。裁判を起す根本的な理由は何か。

(企画情報課長) 契約を解除したい相談の手紙が届いた。以降、連絡が取れない状態となつた。住所を調べ、一昨年に事情の説明を求めたが返事がなく、昨年契約解除通知を送付した。今回の訴訟は、契約に基づく違約金の支払いを求め、公正性を担保しようとするものである。



3月には農産物加工施設「MOMO・CO」の竣工式が行われた

農業ビジネス訓練所の整備を進める

平成28年度補正予算のうち、一般会計(第7号)は、農業ビジネス訓練所整備で9587万円などの増額があるものの、年度末の予算整理により19億1766万円を減額し、予算総額81億5858万円とすることを全責賛成で可決しました。

質疑

農業ビジネス訓練所はどのようなものか

問 (村上正勝議員) 農業ビジネス訓練

平成28年度一般会計補正予算(第7号)のおもな内容

【主な事業】

- 農業ビジネス訓練所整備 9587万円
- 公立藤田総合病院に対する負担金 1374万円
- 公共施設整備基金(貯金)への積み立て 1000万円 (◎は29年度に繰り越して実施する事業)

【主な財源】

- 地方交付税(国からの交付金) 1億5133万円
- 前年度からの繰越金 2426万円
- 町税 2000万円

【予算に計上済みだが、29年度に繰り越しが決定した主な事業】

- 道路除染の委託料 7億7200万円
- 地域密着型サービス等整備・介護施設等の開設準備の補助 1億8502万円
- 道の駅の開業準備 1億1099万円
- 農業ビジネス訓練所整備 9587万円
- 森林再生に向けた放射性物質対策および森林整備 8903万円

町道整備事業債の減額理由は

問 (八島博正議員) 町道116号の整備事業債が3分の1に減額となった要因は。

建設課長 28年度当初予算時点での国の社会資本整備総合交付金事業で要望していた金額の内示額が、全体の3分の1になったためである。

財政調整基金の残高はいつくらいか

問 (八島博正議員) 年度末での財政調整基金の残高はいくらになるのか。

総務課長 残高は約8億5000万円である。

一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

給与費から主に職員の手当を減額

伊達地方衛生処理組合議会

【臨時会】

12月22日、伊達地方衛生処理組合議会臨時会が開催され、28年度補正予算や職員の給与に関する条例改正が審議され、いずれも可決されました。

(報告者 八島博正)

人事院勧告に基づき職員の給与を増額

公立藤田病院組合議会

【臨時会】

所整備事業費があるが、具体的にはどのような訓練所なのか。
産業振興 町の基幹産業である農業の担い手の育成と、主要作物の水稲果樹に次ぐ野菜の多品種栽培などで園芸作物の振興を図り、稼げる農業のビジネスモデルを目指すものである。

訓練は町内外を問わないのか

問 (村上正勝議員) 町外の人には農地取得等での規制もあると思うが、訓練を受ける人は、町内、町外を問わないのか。

産業振興課長 訓練所は、基本的に町内で就農したい、スキルアップしたい方を対象に開設する。

移住者に住宅提供などの考えはあるか

問 (松浦和子議員) 農業ビジネス訓練所について、首都圏からの

移住者がいた場合、住宅提供などの考えはあるのか。
企画情報 農業の技術面はビジネス訓練所で習得し、町での生活は空き家の活用も検討したい。国や県の空き家の改修などの施策も活用していく考えである。

繰越明許費とする理由は

問 (浅野富男議員) 繰越明許費が14億5000万円計上されているが、なぜ繰越になったのか。

総務課長 国、県の補助金を活用する考えの中で、国の2次補正や年度末の補助指令が出るものもあり、年度内の事業完了が難しい。事業に取り組むのが次年度となるため繰越明許費とした。

除染対策の繰越金額が大きい理由は

問 (浅野富男議員)

除染対策費の繰越金額が大きいのはなぜか。
原災対策課長 道路除染は昨年8月に契約したが、作業員の安全確保や天候に左右されることもあり、事業が残っていることから繰越明許費となった。

道の駅広告宣伝費の内容は

問 (渡辺勝弘議員)

繰越明許費の道の駅広告宣伝費470万円について、ランドオープンに向けてのものか、持続的に行う宣伝費を伺う。
総務課長 繰越明許費分はランドオープンに向けたものである。オープン後のものは、PRも含めて当初予算で計上している。

人事

副町長に佐藤弘利氏が再任



国見町副町長の任期満了により、現職の佐藤弘利氏を選任することに同意しました。

設備や機器を更新する当初予算を決定

福島地方水道用水供給企業団議会

(自然の水を浄化し、水道水として国見町、福島市、桑折町など3市3町に提供する事務組合)

【定例会】

2月20日、企業団議会定例会が開催され、28年度補正予算や中央監視制御設備や水質検査機器の更新などの29年度当初予算が審議され、いずれも可決されました。

平成29年度当初予算 収益的収支予定額

収入 45億2623万円
支出 47億3827万円

資本的収支予定額

収入 なし
支出 25億5670万円
(収支差引不足分は、過年度分の留保資金などで補います。)

(報告者 東海林一樹)

～5人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



議員	質問事項	ページ
佐藤 定男	国見小・県北中学生の学力レベルは	14
	中学校の部活動は全員参加か	
松浦 和子	「女性活躍フォーラム」開催についての考えは	15
	女性のがん検診受診率を上げる対策は	
渡辺 勝弘	高齢者ら要支援者避難の個別計画策定の課題は	16
	若者の起業移住の拠点づくりをどう考えるか	
浅野 富男	道の駅オープンへ向けた出荷組合の状況は	17
	町民の要望に対応する計画が必要ではないか	
村上 正勝	汚泥搬出後のテントや機械の片付け完了はいつ頃か	18
	高齢者世帯などに除雪対策が必要では	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

町政を問う

一般質問

3月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするもの。

町長の行政報告（抜粋）

■東日本大震災からの早急な復旧・復興

- 除染対策は、生活圏の除染や墓地の通路などの除染は現場作業が終了し、現在道路除染などに取り組んでいる。
 - 県北浄化センターの汚泥は、1月30日をもって全量の搬出を完了した。
 - ため池放射性物質対策事業は、調査が必要な町内13か所の内、現在観月台文化センターを含む3か所対策を実施している。
 - 仮設住宅入居の町民の退去については、日渡および上野台の仮設住宅はすべて完了し、駅前も全戸が移転予定である。退去後は、県で撤去工事が行われる予定である。
 - 平成29年産米の作付は、吸収抑制対策と全量全袋検査を実施し、町内5か所に対策を実施しないほ場を設置して結果を検証する。また、特別栽培と食味値などにに基づき、米のおいしさを「見える化」し、国見ブランドとして確立するため、7名の生産者が栽培に取り組む。
 - あんぼ柿は、包装製品の出荷が再開され、全量非破壊検査を実施し安全安心の確保と産地再生に向けた取り組みを進めた。12月から2月には、東京都内各所でトップセールスに取り組んだ。
- 安全安心な町政の実現
- 鳥獣被害対策は、小坂・山崎地区で侵入防止柵の設置を完了し、石母田地区でも6割程度が完了した。
- 活力ある町政の実現
- 道の駅建設工事は、建築本体はほぼ完了し、3月末にすべて引き渡しの予定である。4月27日の竣工式、5月3

- 日のグランドオープンに向けて関係機関と調整しながら準備を進めている。
 - 若者交流事業は、2月26日に「スマイル国見若人の会」との共催で今年度3回目の婚活パーティーを仙台市で開催し、町内外の多くの若者が交流した。
 - 「(仮称)くみにアグリビジネス研修所」整備事業は、町の基幹産業である農業の担い手の育成と多品種野菜などの園芸作物の振興を図るために進める。
 - 貝田ほ場整備事業は、県営事業では計画区域約30ヘクタールの内5.7ヘクタールの工事請負契約が締結され、整備後のほ場の所有者を定める換地原案の作成も、地元の皆様の協力を得ながら順調に進んでいる。
 - 文化・スポーツ事業は、「国見の歴史・文化」を知る機会を提供する場として、1月10日に「あつかし歴史館」がオープンした。また、「子ども司書講座」を開設し、新たに10名の「子ども司書」が誕生した。スポーツでは、包括連携協定を結んでいる東邦銀行の協力により有名アスリートの指導による陸上教室を開催した。
- 思いやりのある町政の実現
- 国見小学校の校庭改修工事は、現在順調に進んでおり、小学校の卒業式前までの竣工を目指している。
- 町の継続的な維持発展
- まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業は、福島信用金庫との連携事業である「クラウドファンディング」の講演会、ママカフェの開催、ヤングカレッジ「国見カスタム・ラボ」などを開催し、関心の高さと広がりを感じた。

みなさんからの陳情

3月定例会では陳情1件を産業建設常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳情	提出者	結果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会 伊達地区連合会 議長 高橋誠一	採択 (全員賛成)

※議長は採決に参加しない。

委員会での陳情の採択を受け、慎重審議を行い、意見書をまとめました。議会で諮り可決されたため、意見書を提出しました。

意見書

3月定例会では意見書1件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

本県の復興促進や労働人口の流出防止、中小・地場企業の支援強化のため、最低賃金の引き上げと早期発効を求めるもの。

可決

Q 国見小・県北中生徒の学力レベルは

A おおむね国・県の平均、あるいは平均を上回っている



佐藤定男議員

問 テストの結果について過去3年間の実績を問う。

教育長 小学校では26年度の国語B、27年度の算数Bで全国平均を若干下回ったが、それ以外はおおむね県平均以上、全国平均と同等かそれ以上である。県のテストでは27年度の理科で県平均を若干下回ったが、それ以外の教科は県平均以上である。

問 中学校は27年度に全国平均を若干下回ったが、それ以外は全国平均と同程度ないし平均を上回っている。県のテストでは若干の変動はあるもの県平均より少し上回っている。

問 テストの結果を踏まえ、今後の課題は何か。

教育長 県全体の傾向と同じだが算数・数学の安定した学力の向上が課題だ。また活用をみるB問題の正答率をさらに向上させたい。

問 文化系の部が2つとは驚いている。減少となった理由は何か。

教育長 部活の教員数が密接に結びついている。学級数が少なくなければ配属される教員も減らされる。できるだけ生徒の多様な希望には応えたいが現状が精一杯である。

問 学力テストは国・県がそれぞれ実施している。対象学年と科目、実施時期について伺う。

次長 国の全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生で毎年4月に実施される。実施教科は小学校が国語、算数、英語である。

問 平成24年4月、各小学校が統合されて国見小学校となった。統合により学力の面で成果はみられるか。

教育長 成果は現れている。特に算数Bについて

問 文化系、体育系の部はそれぞれいくつあるか。全員が何らかの部に所属しているのか。

教育長 部活の教員数が密接に結びついている。学級数が少なくなければ配属される教員も減らされる。できるだけ生徒の多様な希望には応えたいが現状が精一杯である。



町の活動も生徒たちの音楽でより華やかに(吹奏楽部デイサービス演奏会)

Q 「女性活躍フォーラム」開催について

A 民間とも協力し道の駅での開催を考えている

問 町長は女性の働きやすい環境づくりや能力を高く評価されており、在住女性の活躍もすばらしく、着眼・企画・実行力で国見の名を全国に発信している。道の駅ランドオープン記念イベントとして、町長を

町長 町の活性化や維持発展には道の駅の整備が大きな起爆剤になると考えており、女性の感性が非常に重要になってくると思う。女性活躍フォーラムは私も道の駅でやりたいと考えていた。ただ、行政だけではなかなか難しいところも出てくるので、民間の方々にもご支援いただき、継続できるスタイルで進めていきたい。

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は

問 早期発見の視点から、毎年受診は可能か。

問 毎年が難しいのなら、5か月の検診期間中に、ももたんFMなどを利用して多くの方に呼びかけ、自分の身体は自分で守るよう周知をお願いしたい。

町長 受診率アップは重要な課題である。受診者の裾野を広げ、がん撲滅につなげたい。先ほどの女性活躍フォーラムで議論の1つとするなど、検診を女性活躍のペースにして、そこから発展があるという意識づけも必要だと思う。町を挙げて普及啓発に対応していきたい。



松浦和子議員

問 女性のがん検診受診率を上げる対策は

問 点から、毎年受診は可能か。

問 毎年が難しいのなら、5か月の検診期間中に、ももたんFMなどを利用して多くの方に呼びかけ、自分の身体は自分で守るよう周知をお願いしたい。

町長 受診率アップは重要な課題である。受診者の裾野を広げ、がん撲滅につなげたい。先ほどの女性活躍フォーラムで議論の1つとするなど、検診を女性活躍のペースにして、そこから発展があるという意識づけも必要だと思う。町を挙げて普及啓発に対応していきたい。

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は

問 早期発見の視点から、毎年受診は可能か。



町政に関心を持つ女性も増えました(議会傍聴)

Q 高齢者ら要支援者避難の個別計画策定の課題は

A 要支援者の個人情報保護と支援対策の充実強化に努める



渡辺勝弘議員

問 いくつかの個別計画を100%にするのか。

保健福祉課長 これまでは社会福祉協議会や民生児童委員の絶大な協力によるもので、町内会、消防団とも連携し早い時期に100%に近づけられるよう進めたい。

問 個人情報の管理はどのようになっているのか。

保健福祉課長 名簿や個別計画の活用方法や管理体制を十分に説明して、説明マニュアルや制度のチラシなどを作成し対応していきたい。

問 「個別計画」をどのように活用して安心安全なまちづくりを進めるのか。

保健福祉課長 避難行動要支援者の名簿は、情報開示の同意を得た方の名簿を町内会長、警察、消防団に提供して、有事に備えて要支援者の把握に活用していただく。



要支援者の救出訓練も実施(防災訓練のようす)

さらに個別計画を活用して避難訓練などを実施したい。

問 高齢者ら要支援者避難の「個別計画」が県内の他市町村と比べて高い策定率になっている要因と課題は何か。

町長 町の地域防災計画に位置づけをして、社会福祉協議会や民生児童委員の協力のもと率先して取り組んだ結果である。今後とも支援対策の充実強化のために個人情報保護に十分留意して、家族と支援をする方々との情報の共有と実践の防災訓練をしっかりとやっていくことが大切であり、重要な課題だと考えている。

問 近隣市町村は国からの対策が示されないために策定が滞っているが、あえて進める理由は。

保健福祉課長 地域防災計画に基づき弱者の安心安全を確保する観点から、率先

とから、用途に制限があり町の施設として活用している。

問 若者の起業家に対する行政支援はあるのか。

企画情報課長 町では、1年以上町内に居住し同じ事業を営む方に、「中小企業経営合理化資金保証融資制度」がある。さらに、経済産業省所管の創業支援事業計画を策定して、起業される方を支援していく。また、農業については、農業ビジネス訓練所が核になると考えている。

Q 道の駅オーブンへ向けた出荷組合の状況は

A 町内の農家・業者の出荷組合加入促進を図る

問 農産物の出荷組合が設立されたものと承知しているが、どのような運営になるのか。組合員数は何人で、その中には国見町民以外も含まれるのか。また今後の加入の予定は。

まちづくり交流課長 国見町道の駅出荷組合は平成27年3月23日に設立、一般食品等を直売エリアへの出荷と、車両等を用いて道の駅敷地内で販売をする任意の団体であり規約に基づいて運営される。組合員数は直近で371名、うち町外居住の方は204名である。町外の土産品業者

問 組合員からは手数料を徴収しているが、町内の農家、商工業者は加入の促進を図る。

まちづくり交流課長 直売部門は、まちづくり会社と出荷組合との委託販売である。この販売手数料が会社の収入となる。農産物15%、加工食品20%、工芸品等25%とし、その他出荷組合には年会費を納入する。町内居住者は2

問 くにみ市場開催にあたっての人員費については、どのような対処をしているのか。

まちづくり交流課長 くにみ市場は、まちづくり会社と出荷組合が主体で行ったものである。双方の要請を受けてまちづくり交流課の職員、会社で委託を

問 町民からの要望、要求に対して町では予算がない、検討するとの回答が多々ある。また「町内会での対処すること」などの回答の時もあるが、最初に町道の除雪体制について尋ねる。

建設課長 今年には町内の建設機械を有する9社と単価契約をしている。融雪剤の散布も2社と契約。状況を見ながら体制

問 高齢者、単身世帯等で、町内会だけの対応は年々難しくなる。予算措置などを含めた将来に対する計画が必要ではないか。

町長 さまざまな要望があるが対応しきれっていない状況がある。また優先順位の付け方も役場と地元との乖離が若干ある。当初予算では、自治協議会事業として2100万円を計上した。うち1500万円は5方部へ配分し、それぞれにおいて優先順位を選定してもらったようなシステムを構築したい。



浅野富男議員

千円、町外の方は3千円と差がある。



工事が完了した道の駅を視察(直売所付近)

したシルバー人材センターの会員も支援する形態で運営してきた。人員費についてはそれぞれの組織において支出した。

Q 汚泥搬出後のテントや機械の片付け完了はいいつ頃か

A 平成30年3月を目途に作業を完了する



村上正勝議員

施設の解体撤去は、平成30年3月末を目途に作業が完了するとの説明を受けている。

問 汚泥置場が更地になった後の利用はどのように考えているか。地元では太陽光発電を設置しても

らうよう県に要望しているが、町としてはどのように要望しているのか。

問 汚泥置場は県の所有地である。太陽光発電をする場合

皿となるべく条例の制定を進めている。太陽光発電設置の要望は、撤去後の更地の有効利用の観点から非常に好ましいことであり、土地所有者である県に対しても異論はない旨を伝えている。県や関係機関とも十分連携し、取り組みを見守りたい。

は民間業者に貸すことだが、地元迷惑をかけた分、電力を幼稚園や集会所などで利用できないか。

問 町道の除雪は各地区の土木業者によりスムーズにされているが、町道に面さない家の道路、特に高齢者や母子家庭などの除雪は大変な重労働である。雪の場合も、土砂災害や水害のように対策を取る必要があると思うが、町の考えは。

問 長期間保管された汚泥搬出は平成29年3月で完了するとの約束である。予定より早く進んでいるようだが、今後、汚泥置場のテントや減容化機械の片付けなど一通り完了するのはいつ頃になるのか。

町長 県と町とで取り交わした覚書により汚泥搬出を進めてきたが、前倒して1月30日にすべての搬出が終了した。

汚泥を保管していたテントは、3月10日、町で撤去と搬出完了の現場確認を行う予定である。

また、仮設汚泥乾燥

課と、民間の発電事業者から太陽光発電を行うために用地を貸して欲しいと打診を受けていることである。県では、受け



汚泥保管テントの撤去後に環境を守る会が視察

課保健福祉 ひとり暮らしや高齢者世帯に対しては除雪支援サービスを行っているが、母子家庭に対する直接の支援はない。共助の仕組みとして、支援を要する高齢者を地域で支え助け合う仕組みづくりを社会福祉協議会と地域包括支援センターなどと検討を始めたところである。

地域課題の解決へ向けて

地方自治研究交流セミナー報告

最終回報告 2月3日

地域経済活性化の取り組みについて

伊達郡三町(国見、桑折、川俣)が抱える地域課題を解決するため、地方自治研究交流セミナーが開催されました。福島県町村議会議長会の主催によるもので、町村議会議員を対象に全4回開催されました。

農業で地域が豊かになるように

TPP問題を入口に考える、これからの福島の農業

講師 福島大学 林 薫平 特任准教授

福島市の自治会館において第3回のセミナーが開催されました。

① TPPと日本の農業

TPPを見据えた日本政府の農業政策は「攻めと守り」で従来と変わっていません。しかし米国トランプ大統領は離脱を表明しており先行きは不透明であります。

一方で、農林業センサス2015の結果は経営体総数および経営耕地面積が減少、大規模経営は成長が見られます。

② 福島農業の課題

風土や歴史に根差した特産品への取り組み、個性ある産品づくりのため合併農協の力をフル活用し全県レベルで進めるべきです。そして環境、景観、住民の福祉の向上に、農業があること地域が豊かになるような取り組みが必要となります。

川俣町役場庁舎内において最終回のセミナーが開催されました。

① 東日本大震災後の福島県経済の動向

県単位の報告では力強い復興が進んでいるとするものも少なくありません。しかし、詳細にみると郡山市・いわき市などと比較して、原発事故の影響を強く受けた浜通り地域北部の復興は遅いことがわかります。

② 今後求められる方向性

製造業は技術力の向上と人材の育成、小売業・サービス業は商店街をどうするか、新しいまち

各産業固有の課題を把握して

講師 福島大学 初澤 敏生 教授

づくりが求められています。各産業にはそれぞれ固有の課題があります。その実態を把握したうえで「地域づくり」をいかに進めるかを考える必要があるでしょう。

(報告者 佐藤定男)



メモを取りながら現状と課題を確認



質問をして積極的に学んでいます

廃校を貸事務所として 成功した町

2月8日から9日に、秋田県五城目町に訪問し議会行政調査を実施しました。人口9481人、面積214・84平方キロメートルで8割が山林であり、林業が中心の産業です。

五城目町の人口減の現状を開きました。その対策として企業誘致を進める上で、五城目町では専門家と共に町の可能性を調査してきました。大規模企業の誘致は不可能である現実を打開するために、小



廃校をレンタルオフィスとした「シェアビレッジ」

学校の廃校が「貸事務所」レンタルオフィスとして活用されています。若者の起業、移住による成功例を学び、当町においても人口減少の打開策があるのではないかと考えさせられる行政調査でした。

(報告者 渡辺勝弘)

庁舎建設の視察で他市町村 議会が来庁

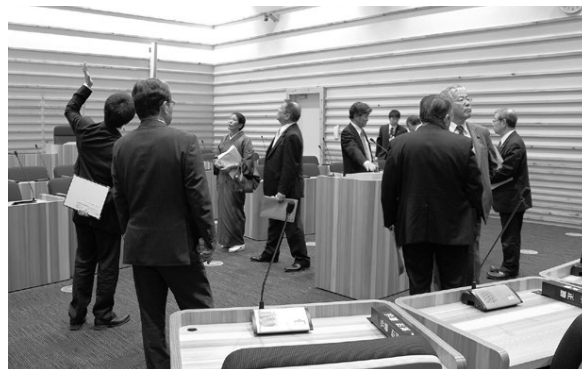
奈良県大和郡山市議会、桑折町議会

1月19日に奈良県大和郡山市議会、2月17日に桑折町議会の皆様が役場庁舎建設の件について視察に来庁されました。

当町議会からは東海林一樹議長が同席し、庁舎内の見学などで交流を図られました。



遠方から役場庁舎を視察に(大和郡山市議会議員の皆様)



議場もご覧いただきました(桑折町議会議員の皆様)

議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は**6月20日**
開催予定です

- 手続きは簡単です！
受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。
- 議案資料を準備します！
議案審議がわかりやすくなるよう、傍聴者には議案資料を提供します。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。TEL 585-3295(直通)

傍聴者からの 声

3月議会を傍聴したみなさんからアンケートにより感想をいただきました。

- 国見町の女性の活躍には素晴らしいものがあることを知った。町の行事に参加したいと考えていたので、希望が持てた。(60代・女性)
- 議場内(特に議員席側)に覇気がない。(女性)
- 一般質問通告書のコピーが添付されていたのでわかりやすかった。本日の傍聴者が少なかったのはなぜか。時期？質問内容？(60代・男性)
- 今回は質問件数は少なく、傍聴者も少なかった。(60代・男性)
- 日常生活に関する身近な問題を取り上げてほしい。例えば、道路、環境、地域、町内会づくりなど。(80代・男性)
- 議会報告懇談会に参加者が少ないのはなぜか。住民から選出された議員だが、住民との意識乖離があるのか。あるいは住民の意識が低いのか。議員は住民の代表としてもっともっと勉強すべきではないか。(60代・男性)
- 各委員会の視察研修が行われ、最近での駅や空き家対策の視察が行われたようだ。視察研修の結果、何を学び当町に対してどのような施策提案が議員からあったか知りたい。あまりないとすれば問題である。(60代・男性)
- 傍聴席に掛時計をお願いしたい。(80代・男性)



最終日 閉会まで真剣に傍聴してくれた県北中卒業生

お2人から、議会傍聴の感想などをいただきました。詳細は22ページの「私もひと言」をごらんください。

議会の動き

3月2日	3月議会定例会(～16日)
3月2日	議会運営委員会、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、広報常任委員会、モモ生産部会国見支部通常総会
3月4日	桑折地区交通安全協会森山野部会定期総会
3月5日	奥州街道ど真ん中！く！み春のフードフェスタオープニングセレモニー
3月7日	議員懇談会
3月8日	正副議長委員長会議、全員協議会
3月9日	第21回国見町フォトコンテスト審査会
3月13日	県北中学校卒業証書授与式
3月15日	正副議長委員長会議、全員協議会
3月16日	議会運営委員会、全員協議会、広報常任委員会
3月17日	く！み幼稚園修了証書授与式、 県北浄化センター環境を守る会総会
3月18日	藤田保育所修了証書授与式、 町消防団消防庁長官「表彰旗」受章祝賀会
3月21日	第21回国見町フォトコンテスト表彰式
3月23日	国見小学校卒業証書授与式、 東日本大震災復興復興対策推進国見町町民会議役員会
3月26日	東北中央自動車道阿武隈東道路開通式・祝賀会(相馬市)、 町剣道祭開会式
3月27日	総務文教・産業建設合同常任委員会、議員懇談会、 公立藤田病院組合議会全員協議会・議会定例会
3月28日	教職員離任式、町交通対策協議会
3月29日	伊達地方消防組合議会全員協議会・議会定例会(伊達市)、 伊達地方衛生処理組合議会全員協議会・議会定例会(伊達市)
3月30日	国見町農産物加工施設「MOMO・CO(ももこ)」竣工式
3月31日	退職職員辞令交付式

4月3日	副町長辞令交付式、新規採用職員辞令交付式、教職員着任式
4月5日	藤田保育所入所式、広報常任委員会
4月6日	国見小学校入学式、県北中学校入学式、議員懇談会、 桜ライトアップ点灯式
4月7日	く！み幼稚園入園式、国見小学校庭改修工事落成式
4月10日	伊達郡町村議会議長会各町議会議長会議、 伊達郡振興懇談会(福島市)
4月12日	町内会長会議、広報常任委員会
4月13日	正副議長委員長会議、町生活環境推進員会議
4月15日	町郷土史研究会総会、町体育協会総会
4月16日	内合春日神社例大祭・太々神楽奉納
4月17日	議員懇談会
4月18日	広報常任委員会
4月19日	町商工会青年部通常部員総会
4月20日	道の駅「国見あつかしの郷」安全祈願祭、 町遺族会定期総会、平成29年第1回議会報告懇談会(～22日)
4月21日	議員懇談会
4月23日	町身体障がい者福祉会定期総会
4月26日	町健康推進員会議
4月27日	道の駅「国見あつかしの郷」竣工式
4月28日	町寿クラブ連合会総会、議員懇談会

子ども議会を企画し興味を持つきっかけに



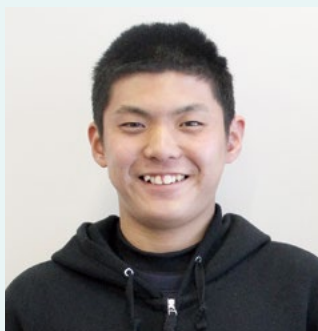
佐藤 悠貴也さん
(県北中学校28年度卒業生)

僕は、初めて議会の傍聴をしました。僕の今までの議会のイメージは、堅苦しい、子どもたちには疎遠な場所と考えていました。ですが、昔から政治に興味があり、特に県政に興味がありました。しかし、くにも議会だよりを見ていたら、一般質問や質疑、採択の内容が載っており、読んでいたらとても面白く、町の政治にも興味を持ち始め、議会の傍聴してみたいと思いました。そして、3月定例会の最終日、傍聴してみようと考えました。

で見ることができたのでとても面白かったです。さらに、資料も用意していただき、内訳や支出など事細かに書かれていて、とてもわかりやすかったです。そして議員の方々が町長に質問したりする質疑、採択が的確でわかりやすく説明をされていて、議会はこんなことを決めたり、話し合ったりしているんだなと思いました。

議会を傍聴してとても勉強になりました。僕たちのような子どもたちにも身近に議会を感じてもらうために、子ども議会の開催を企画してはいいかがでしょうか。そうすれば、町政に興味を持つ小中学生が増えると思います。

初めての傍聴を通して町のことを学べた



山崎 達也さん
(県北中学校28年度卒業生)

私は、初めて町議会の傍聴をしました。私の親友である、佐藤悠貴也君に誘いをいただきました。悠貴也君は、町議会や国の政治などに興味を持っていて、話を聞いていて、悠貴也君のように、それほど興味があるわけではありませんでした。でも、国見町に関わることなら聴いて、見てみようと思いました。

私は少し緊張しながら傍聴席へと入りました。入って第一に感じたのは、たくさん職員、議員によって議会をすることでした。私は、議会は少数でやるものだと思っていました。実際に見てみると、そうではないとわかりました。

た。傍聴をしてわかったことは、一問一答で行うということです。傍聴をして初めて知ることができたので良かったです。

資料を見て、話を聞いてみると、話している内容がわかって面白かったです。

国見町が学校に対してものすごい金額を支払っていることを聞いてびっくりしました。話を聞いて、改めて感謝しなければいけないと思いました。

途中、内容がわからないところもありましたが、とても勉強になりました。

今まで国見町についてわからないことがありましたが、議会を通して学ぶことができ、ためになりました。今回、議会を傍聴することができて良かったです。

これからは、町のことを考えて生活したいと思いました。

町の復興も順調に進んでおり、これからのまちづくりは地方創生が重要な課題であると思います。町では、道の駅を核とした活力あるまちづくりを目指しています。ぜひ、成功させたいと思います。

今回の議会だよりが、現広報委員最後の広報紙となります。議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。

6月議会号からは、新メンバーで、議会と町民をつなぐ広報紙として、わかりやすく親しみやすい紙面づくりに努めます。今後とも、よろしくお願いたします。

(阿部 泰藏)

- 発行責任者 東海林 一樹
- 議長 渡辺 勝弘
- 広報常任委員会 委員長 佐藤 定男
- 副委員長 浅野 富男
- 委員 阿部 泰藏
- 同 松浦 常雄
- 同 村上 一

